

胸腺腫瘍の TNM 分類運用に関するお知らせ

2025 年 5 月

会員各位

「肺癌取り扱い規約第 9 版」が改訂出版され、肺癌については 2025 年 1 月から TNM 分類第 9 版を使用することはすでに日本肺癌学会より周知されているところですが、胸腺腫瘍についても、2025 年 1 月より TNM 分類第 9 版を用いて、放射線画像・病理所見を含めたデータ整理や、NCD への症例登録をお願い申し上げます。すでに、NCD 登録をされている会員におかれましては、誠に申し訳ございませんが、TNM 分類第 9 版にて修正入力をお願い申し上げます。なお、引き続き正岡分類を併記いただくことに支障はございません。

変更の要点は以下の通りです。

- (1) T 因子: 胸腺内に限局あるいは、縦隔脂肪、胸膜被膜に浸潤しているが、その他の縦隔構造への直接浸潤はないものを T1 とし、腫瘍径 5cm 以下を T1a, 5cm を越えるものを T1b とした。横隔神経・肺浸潤は T3 から T2 に変更となった。
- (2) N および M 因子については変更なし。
- (3) 病期分類: 第 8 版 TNM から定義される stage は変更なし。

肺癌診療ガイドライン 2024 年版をご参照ください。

<https://www.haigan.gr.jp/publication/guideline/examination/2024/>

日本呼吸器外科学会
日本胸腺研究会